

「町内チャンピオンマップ」 (加古川グリーンシティマンション防災会)

自主防災組織

加古川グリーンシティ防災会

- 防災の輪を広げるコツ -
「楽しく防災活動をやろう」



地域コミュニケーション

- 14階建を中心
- 7棟、584世帯、約2000人
- 1986年、加古川グリーンシティ完成入居
- 「マンションの防災対策」?
- 楽しくやらなければ、防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやろう！」
- 人と人とのつながりがあっての防災
- 防災とは言わない防災 = 生活防災

加古川グリーンシティ防災会からのお知らせ 町内チャンピオンマップに登録してください



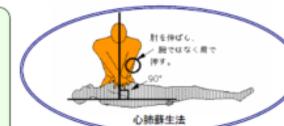
防災会チャンピオンマップに登録してください

災害時・緊急時に家族の安全確認をした後、隣り近所で自分の力を必要としている時に、自分の仕事・趣味等の知識でスムーズに救助活動が行えるように、また、充分力を発揮できるように自分の持っている特技を登録してください。予の登録をしておいてくださると、迷わず自分の助言・力をかりることができます。



- ・ 大工仕事が可能だ
 - ・ ユンボ等の重機を扱える
 - ・ チェーンソー、エンジンカッター等を扱える
 - ・ 高所作業にはなれている
 - ・ 現・元看護士であるので血を流している人を見てもたじろくことなく応急処置ができる
 - ・ インターネットをしているので情報収集・発信が出来る
 - ・ 車の整備士免許をもっている
 - ・ 建築士、土木施工監理士の免許を持っている
 - ・ 特技は無いが炊き出し・買出し・子守り参加できる
- ※ その他、私にはこんな特技があるという方は是非、管理事務所に登録してください
(フライバシーを考慮して、資料の管理は防災会が行います)

また、高齢・身体的障害があるため「災害時には一声かけて安全を確認してほしい」方も、予め登録しておいてください。
配布しました登録申込用紙を紛失した方は、管理事務所へ申し出てください。



特別のことじゃない:ふだんの特技を活かして...

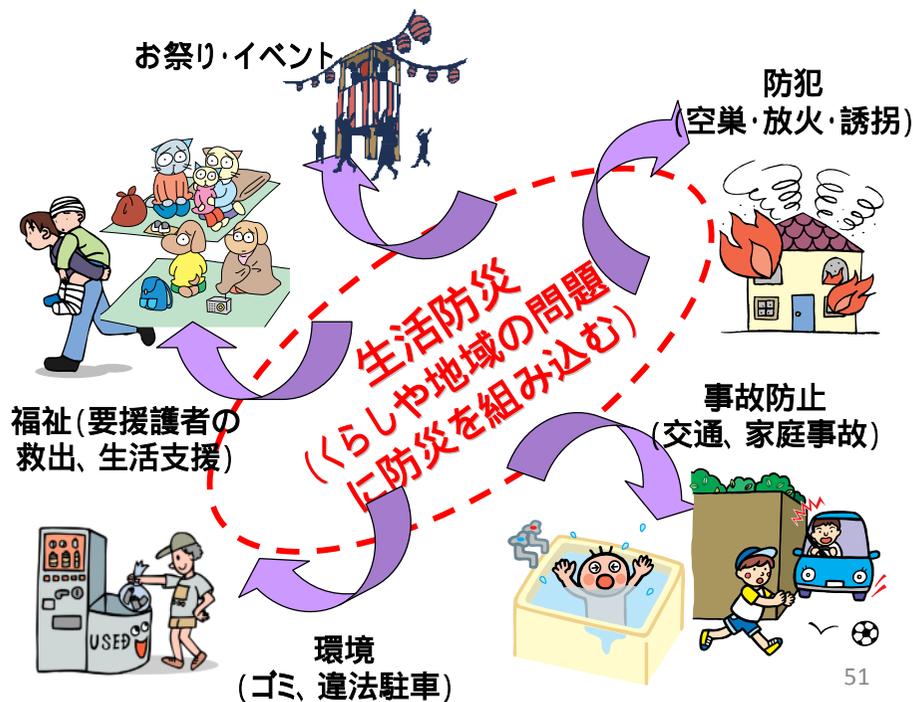
防災井戸設置

- 被災時に発生する問題・・・「飲料水不足」「トイレ用水不足」
- 地下30mの井戸(160ℓ/分・230トン/日)
- 「生きるための水」だけでなく最低限の「生活水」を供給できるよう計画。普段は遊び場、散水。
- 地域コミュニティの場を提供することで「人の輪」を形成し、安全で安心なまちづくりを推進



まとめ

50



51

まとめ1

- 「してもらう/してあげる人」から「共にする人たち」へ
- 「まさか/ふだん」を分ける「全員センサー」
- 「結果として生活者の選択肢と思考力は奪われ...」(嘉田知事の論文から)
- 生活防災: 「ふだん」に「まさか」を忍ばせる工夫
- 災害情報の「受け手」から「伝え手(見つけ手)」へ
- 「ふだん」使っているモノ、「ふだん」しているコトが、「まさか」のときに役立つ
- 防災の世界への玄関(窓口)はたくさんある:好きなこと、得意なことから(一人一人の個性)

52

まとめ2

- 都市部には都市部の、村落部には村落部のやり方がある(地域の個性)
- 「する人」になった住民(子ども)、それに応える行政(大人)...本物に参与することの重要性
- 「まず自助」(自分の命を守るために)というより、「まず共助」(一番大切な人(モノ)を守るために)
- 生活防災 = 24時間365日警戒態勢ではなく(消防・警察などは例外)、「ふだん」の中に秘やかに「まさか」への対処を忍ばせる術(楽しみ、やり甲斐)
- 「地域活動の活発さが重要」(滋賀県調査から)

53

ありがとうございました！

幸い、関心をお持ちいただけたならば……



54